
いつものおばさん

坂田火魯志

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつものおばさん

【Nコード】

N8512S

【作者名】

坂田火魯志

【あらすじ】

某国の絶叫系ニュースキャスター。日本では有名な人物だが急に姿を見なくなりだ。日本人達は何を思ったか。SmileJapan企画作品です。あの国のいつも出て来る人を書かせてもらいました。

第一章

いつものおばさん

「我が国を害せんとする悪辣なる狼の如き」

「おお、またこの人か」

「この人なんだな」

日本人達はだ。ある国のニュースキャスターがテレビに出るとだ。いつも妙に楽しそうな声をあげるのだった。それは何故かというのだ。

その強烈な個性故にだ。非常にヒステリックな喋り方で過激というか不自然な形容詞を多用するそのキャスターは最早日本の誰もが知っていた。名前は知らなくともテレビを出ればあああの人か、と気付く様なだ。そんな人である。

そのキャスターの母国も非常にユニークというかその存在自体がある意味においてネタというような国だがこのキャスターの人もだ。ネタという意味で非常に人気がある。そしてこの人を見てである。日本人達は喜ぶのだった。

「相変わらず無茶苦茶なこと言ってるよなあ」

「日本語に訳するのも大変だよ」

「けれど観ていると妙にな」

「面白いんだよな」

何しろこの国のキャスターは本当にこの人しかないのではないのかと言う位出て来るのだ。それで知れない筈もない。しかも個性といううえでは申し分ない。日本人の下手なキャスターより有名であり人気者になってしまっている。だが、であった。

急にだ。このキャスターが出て来なくなったのだ。もう一人いるだ。痩せた男の人ばかりが出るようになってしまった。そうなるのだ。

日本人達は妙に寂しいものを感じた。いつもその奇妙な国の報道

になると出て来て奇声を喚くユニークな人が出て来ないのだ。妙な寂しさを感じざるを得なかったのである。それでこんな話がネット等で出た。

第二章

「死んだのか？」

「病気か？」

「粛清されたのか？」

「一体どうなったんだ？」

本当にどうなったのかだ。心配する言葉さえ出てしまっていた。それでどうなったのか話題になっていた。

「あんな国だからな」

「將軍様の機嫌損ねたらそれで終わりだからな」

「じゃあやつぱり」

「死んだか？」

「有り得るよな」

「粛清されたかもな」

本気で心配していた。他国の、しかも日本を一方的に敵視してて工作や罵倒を繰り返す国の人間でもだ。それでもだった。

彼等はその特異なキャラクターを見られずだ。どうにも寂しいものを感じるのだった。しかし彼等には何もできず不安さえ感じているとだ。急にだった。

またそのニュースキャスターがテレビに出て来た。そのうえでまた絶叫した。内容は日本を罵倒するものだがそれでもだ。日本人達は安心した顔で言うのだった。

「やつぱりな。あの人が出てくれないとな」

「この絶叫と顔を見ないとな」

「寂しくなるよな」

「この変態的な罵倒と絶叫」

「聞いてると妙に癖になるんだよな」

「受けるんだよ、最高に」

こう話してだった。彼等はだ。その再登場を心から喜ぶのだった。

日本を罵倒しているがそれでもだ。あまりにも強烈なキャラクター
故に親しまれるのだった。

いつものおばさん 完

2
0
1
1・4・2
9

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8512s/>

いつものおばさん

2011年10月3日00時07分発行